

公益社団法人日本新体操連盟

平成 26 年度第 2 回総会議事録

1. 会議名： 平成 26 年度第 2 回総会
2. 日時： 平成 27 年 3 月 13 日（金） 17 時 30 分～18 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館・201 号室」
4. 構成員現在数： 20 名
5. 出席社員数： 12 名
以下出席社員
熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所)
秋山 久世(A S K A ・ R G)
波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ)
横山 真理子(ピュア R . G)
曾我部 美佳(町田 R G)
村上 佳子(R i b b o n 新体操クラブ)
加藤 弘美(S T E L L A)
寺田 江身子 (R . G . C . 富士 スターリス)
芳野 操(樟蔭ジュニア)
梅田 雅代 (明石 R G)
松島 博子 (広島オーキス新体操クラブ)
吉田 佳代 (三木 R G)
土屋 瑞恵 (土屋 R . G)
6. 欠席社員数： 5 名
芳賀 久美子(Little queen RG)
藤野 朱美(Diana)
飯田 まぶき(インタークオレス)
小林 かおり(サンシャイン R . G)
玉野 由美(Shaleur R.G)
橋爪 みすず (ポーラ☆スター R G)
梶原 多栄子(梶原ジュニア新体操クラブ)
7. 出席役員： 二木 英徳 (会 長) 石崎 朔子 (副 会 長) 福本 隆 (副 会 長)
渡辺 守成 (常務理事) 秋山エリカ (理 事) 池田真喜子 (理 事)
岡 久留実 (理 事) 谷口 裕代 (理 事) 山崎 浩子 (理 事)
以上 9 名
8. 欠席役員： 朝倉 正昭 (副 会 長) 関田史保子 (常務理事) 上村 郁代 (理 事)
崇島 慎一 (理 事) 谷原 誠 (理 事) 橋本 千波 (理 事)
田中 元 (監 事)
以上 7 名
9. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 27 年度事業計画について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 2 号議案 平成 27 年度収支予算について (定款第 4、35 条、第 4 章関連事項)
第 3 号議案 平成 27・28 年度代議員について (定款第 5 条関連事項)
第 4 号議案 平成 27・28 年度役員について (定款第 4 章、第 5 章関連事項)
第 5 号議案 その他
10. 議事の経過及び結果
(1) 議長による開会宣言
(公社)日本新体操連盟・定款第 15 条の定めにより議長を会長二木英徳が務め、開会宣言を行った。

(2) 定足数の確認

定款第 17 条により総会出席者数 12 名であることが福本隆副会長より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(3) 議事録署名人の選出

定款第 18 条により、議長は議事録署名人を石崎朔子副会長と山崎浩子理事にする事を議場に諮り承認された。

(4) 議決事項

第 1 号議案 平成 27 年度・事業計画について (定款第 4, 35 条関連事項)

議長は説明者として石崎副会長を指名し、石崎副会長は下記内容の説明を行った。

1. 平成 27 年度年間事業計画について

26 年度と大きな変更点はないが、東京体育館の人気集中により、毎年 9 月第 2 週で行われていた「全日本新体操クラブ団体選手権」が体育館の都合により、9 月 26・27 日で開催することとなった。

2. 第 24 回全日本新体操クラブ選手権について

「第 24 回クラブ選手権」を 8 月 21 日から 23 日にかけて東京体育館にて開催する。出場年齢、獲得出場権等ほとんどの内容は 26 年度と同様とする。

種目はシニア・ジュニア共に FIG 年度ローテーションと同じとする。2 部リーグはシニア・ジュニア共通種目のフープ・ボール・クラブとする。

正確な大会スケジュールはエントリー締め切り後確定するので、締め切り後案内する。

3. 第 15 回全日本新体操クラブ団体選手権について

「第 15 回団体選手権」を 9 月 26 日 27 日にて開催する。種目は、シニアの部・クラブ 6&フープ 2 ジュニアの部・ボール 5 となる。

今大会より、ジュニアの部において上位 3 チームに「全日本ジュニア新体操選手権」への出場権が獲得できることとなった。上位 3 チームの中から「全日本ジュニア新体操選手権」の年齢基準に合致したチームが出場権獲得となる。

4. 世界新体操クラブ選手権について

「世界新体操クラブ選手権」を 10 月 2 日から 4 日で開催する。

21 回目を迎える本大会は観る方がより解り易いようにトーナメント方式を変更する。

1 日目に、前回大会トップ 5 のシードチーム及び日本のワイルドカード 1 チームを除く全チームで 4 種目予選。2 日目に予選上位 3 チーム、シードチーム、ワイルドカードで決勝前半 2 種目、3 日目に決勝後半 2 種目を行う。

5. 第 16 回日本新体操祭について

「第 16 回日本新体操祭」を「世界新体操クラブ選手権」と同時開催する。日程は 10 月 3 日。「日本新体操祭」は大変多くの参加者がいるため、スムーズな運営に支障をきたすようになってきた。第 16 回より、演技時間を 3 分、イオンカップ出場選手との記念写真撮影会は行わないこととする。スムーズな運営のため了承いただきたい。

6. 第 18 回全日本新体操チャイルド選手権・第 15 回全日本新体操キッズコンテストについて

「第 18 回チャイルド選手権」「第 15 回キッズコンテスト」を 2016 年 2 月 26 日から 28 日にかけて開催する。

第 18 回大会の種目は以前より案内の通り、5・6 年生の部予選クラブ・決勝リボン。3・4 年生の部予選ロープ・決勝ボールとする。しかし、このローテーションではフープだけ抜けてしまうので、第 19 回大会より、5・6 年生の部において、フープ・クラブ・リボンの 3 種目ローテーションで行う。

また、5・6 年生の部では特別ルールをやめ、FIG 通常ルールとする。

3・4 年生の部では演技時間 1 分となっていたものを 1 分 15 秒から 1 分 30 秒へと変更する。

最後に、2月に行われた第17回大会では得点システムの不具合により、参加者にご迷惑おかけしたことをお詫びする。理事会にて対応策が設けられた事を合わせて報告する。

7. 平成27年度指導者育成セミナーについて

「審判セミナー」を各大会前に行う。大会の指針、意義などを学べる機会なので審判ではない方も是非受けてほしい。

その他にも「指導者育成セミナー」を開催予定である。

8. 質疑、意見

波多野恵子代議員より、「全日本新体操キッズコンテスト」が昨今仮装が過ぎているのではないかと意見があった。石崎副会長、池田理事より、理事会でも議題に挙がっている。皆さんの意見を取り入れながら連盟として方向性を示せるようにしていきたいと回答があった。

以上の説明、質疑の後、議長はその他質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第1号議案「平成27年度・事業計画」について原案通り全会一致で可決承認された。

第2号議案 平成27年度・収支予算について（定款第4,35条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

平成27年度事業はほぼ平成26年度事業と同様に進める予定であり、予算についても実績を反映し、計上している。

1. 登録費収入について

入会金収入・会費収入は26年度の実績登録数を基に計算しており、入会金収入35万円、会費収入1171万2000円を計上している。

2. 全国・国際競技会の開催収入について

競技会収入では、26年度の参加者数を基に算出しており、合計2億6802万6000円の収入を見込んでいる。

3. 収入計について

その他収入も実績を反映して計上し、合計2億9160万6000円を計上している。

4. 指導者資格認定について

新体操ルールを知らずに大会に参加している指導者や、モラルに反する指導者がいることが大会関係者、施設関係者から報告が上がっており、理事会で議論されている。その対策として、指導者資格認定制度の導入を考えている。その準備費として100万円を新たに計上した。

5. 全国・国際競技会の開催支出について

収入同様26年度の参加者数から支出を計上し、2億6411万6200円を計上した。

6. 指導者海外研修会支出について

今年457万2000円計上しているが、新体操先進国のロシア、ベラルーシ、ウクライナの3か国がクリミア半島問題で情勢が不安定となっている。情勢次第では開催できないこともあるので、未開催の場合は決算で大きな差額が出ることもあるので承知いただきたい。

7. 事業費支出計について

以上の事から、27年度事業費支出を2億7734万6000円となっている。

8. 管理費について

26年度予算より微増の1426万円を管理費として計上している。

9. 合計額について

事業費支出と管理費を合わせ、2億9106万6000円が当期事業活動支出となり、当期事業活動収支差額0円。予備費を100万円計上して当期収支差額がマイナス100万円。

前期繰越収支差額1350万7395円を合わせて、1250万7395円を次期繰越収支差額とした。

以上の説明の後、議長は質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第2号議案「平成27年度収支予算」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第3号議案 平成27・28年度代議員について（定款第5条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 日本新体操連盟・代議員について

平成25・26年度第1期代議員の任期が今月末の3月までとなっている。平成27・28年度代議員について、推薦委員会で推薦された方が手続きを経て4月より代議員となる予定である。

熊谷 正儀(仙台ジュニア体育研究所/宮城県)

芳賀 久美子(Little queen RG/福島県)

藤野 朱美(Diana/茨城県)

秋山 久世(A S K A ・ R G /栃木県)

飯田 まぶき(インタークオレス/千葉県)

波多野 恵子(東京ジュニア新体操クラブ/東京都)

横山 真理子(ピュアR. G/東京都)

曾我部 美佳(町田R G/東京都)

村上 佳子(R i b b o n 新体操クラブ/東京都)

玉野 有美(Shaleur R.G/神奈川県)

橋爪 みすず(ポーラ☆スターR G/長野県)

加藤 弘美(S T E L L A /新潟県)

寺田 江身子(R. G. C. 富士 スターリス ジュニア/静岡県)

小林 かおり(サンシャインR. G/愛知県)

芳野 操(樟蔭ジュニア/大阪府)

梅田 雅代(明石R G/兵庫県)

松島 博子(広島オーキス新体操クラブ/広島県)

吉田 佳代(三木R G/香川県)

梶原 多栄子(梶原ジュニア新体操クラブ/福岡県)

土屋 瑞恵(土屋R Gクラブ/大分県)

2. 質疑、意見

曾我部美佳代議員より、多種多様な意見があがるために、推薦委員会が推薦する人はもっと色々な人が良いのではないかと意見があった。

二木会長より、開かれた組織運営のため、曾我部代議員のご意見を貴重なご意見として頂き、委員会で生かしていける様にしたいと回答があった。

以上の説明、質疑の後、議長はその他質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第3号議案「平成27・28年度代議員」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第4号議案 平成27・28年度役員について（定款第4章・第5章関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 日本新体操連盟・役員について

現理事の中より、朝倉正昭副会長が体調不良のため、上村育代理事が定年規定のため、田中元監事のご家庭の事情により現職を離れることとなった。

平成27・28年度理事についてはこの3名を除いた現職の者。並びに新規に宮嶋泰子（テレビ朝日・スポーツコメンテーター）、守永直人（日本新体操連盟・職員）、小島浩二郎（税理士法人晴海パートナーズ・代表）の3名が推薦された。

<再任>

二木 英徳（イオン株式会社・名誉相談役）
石崎 朔子（日本女子体育大学・学長）
関田 史保子（東京女子体育大学・教授）
福本 隆（日本テレビ鳩友会・副理事長）
池田 真喜子（公益社団法人日本新体操連盟・事務総長）
山崎 浩子（スポーツライター）
渡辺 守成（イオンリテール株式会社イオン新体操クラブ・代表）
秋山 エリカ（東京女子体育大学・教授）
岡 久留実（イオンリテール株式会社イオン新体操クラブ・コーチ）
崇島 慎一（共同通信社・運動部次長）
谷口 裕代（コスモスRG・代表）
谷原 誠（みらい総合法律事務所・弁護士）
橋本 千波（PEGASUS・代表）

<新任>

宮嶋 泰子（テレビ朝日・スポーツコメンテーター）
守永 直人（公益社団法人日本新体操連盟・職員）
小島 浩二郎（税理士法人晴海パートナーズ・代表社員）

役職については、総会終了後役員会議が開かれ互選にて決定する。

以上の説明、質疑の後、議長はその他質疑、報告等を求めたが発言は無かった。

以上の後、第4号議案「平成27・28年度役員」について原案のとおり全会一致で可決承認された。

第5号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成27年3月13日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成26年度第2回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 石 崎 朔 子

同 山 崎 浩 子